

平成 19 年度 北海道遺産構想推進協議会事業報告

1 基本的な考え方

■北海道遺産構想は、平成 16 年度の第 2 回選定から 3 年半が経過し、選定時の盛り上がりは一段落した状態と言えます。一方、本構想の考え方が広く全国に伝わり、大分県が「おおいた遺産」を始めるなど、地域資源活用の動きが活発化する中で、ますます注目度が高まっています。そのため、今後も継続的に地域の豊かな発想と行動力により 52 件の北海道遺産が保全・活用され、まちづくり、人づくりにつなげられるとともに、長期的に北海道の魅力として定着させていくことが重要になると考えられます。

■北海道遺産構想推進協議会では平成 18 年度から 20 年度までの 3 年間を「発展・拡大期」と位置づけ、北海道遺産の物語の発信による魅力の向上（ブランド化）や、北海道遺産構想の趣旨を全道に普及させること、そして長期的な視点から本構想を推進する体制の整備を活動の柱にしています。

■平成 19 年度にはインターネット調査によって北海道遺産の「認知度調査」を実施するとともに、北海道遺産構想の趣旨を広く全道へ普及していく運動として、地域の多様な宝物を広く集め、発信していく「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」をスタートさせました。このプロジェクトは地域の個性を、地域の発意によって発信していくこうとするもので、まちづくりをはじめ、観光振興の面でもさまざまなユニークな取組が期待できます。

■平成 15 年から本構想を資金的に支えていただいている「北海道遺産応援団」の仕組みが平成 20 年度をもって実質的に終了することから、平成 21 年度以降は活動予算の大幅な減額が予想されます。そのため、平成 19 年度から非営利特定法人（N P O）化への準備を行っています。

■今後は北海道遺産ファンクラブ的な会員組織の構築のほか、商品販売や事業の受託など、多様なチャネルでの活動資金の確保が必要となります。合わせて、北海道遺産やムラの宝物といった協議会からの情報発信は WEB を中心としたものになっていくため、平成 19 および 20 年度に長期にわたって使えるサイトの基礎的要件を構築するとともに、札幌・江別の北海道遺産を巡るスタンプラリーなど企業とのタイアップによる事業実施などを実験的な意味合いも含めて展開しました。

■北海道が企業や大学との連携を進める中においても、北海道遺産をテーマとして取り上げていただき、セイコーマートでのガイドブック・D V D の販売、札幌大学での北海道遺産を紹介するパンフレットの多言語化での制作など、タイアップ型の P R を進めることができました。

2. 事業概要

(1) 北海道遺産の物語を伝える

■普及啓発事業

「北海道遺産DVD」と「公式ガイドブック」の販売（通年）

前年に続き道内の主要書店およびアマゾンネット、直接申込での販売に加え、平成20年2月～5月に、北海道とセイコーマートの連携事業の一環として全道の店舗で販売。また、北海道遺産の常設パネル展を設営させていただいた中央バスターミナル2階において販売のご協力を得ている。

○平成19年度実績（セイコーマートでの売上は平成20年度で計上）

- | | |
|----------------|-------------|
| ・北海道遺産DVD | 62セット・130千円 |
| ・北海道遺産公式ガイドブック | 853冊・542千円 |

○268千円

「ホームページの拡充」（平成20年3月・一部現在も制作中）

- ・ホームページの全面的なリニューアルを行い、より多様な情報をタイムリーに発信可能なものとした。
- ・写真の掲載を増やし、北海道遺産をビジュアルで伝わりやすいものとした。
- ・観光プラン大賞など各事業のページを増設しトップページに入り口を設置し見やすい構成とした。
- ・北海道遺産52件の紹介ページを充実。所在地・地図などをデータベース化し、出力することで旅先への持参を可能なものとした。
- ・製作内容：公式ホームページ（制作ページ数72ページ）

○105千円

「情報誌の発行」（平成20年3月）

協議会や地域の北海道遺産に関する各種活動を伝える情報誌を作成した。主な内容は協議会の活動報告とし、「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」の報告と応募の依頼、「大好きHOKKAIDO！観光プラン大賞」の受賞作品の紹介、協議会のNPO申請の報告、その他の活動報告とし、8ページでの構成。

- ・発行部数：1,000部
- ・体裁：A4判・1C・8ページ
- ・配布対象：遺産選定地域、協議会関係者、応援団企業、賛助会員のほか、イベント出展時などに一般の方々に広く配布を行う。

○300千円

「第2回 大好きHOKKAIDO！観光プラン大賞」

平成18年度に続き、シーニックバイウェイ支援センターとの共催で、新しい北海道の

魅力を掘り起こす観光プランを募集し、審査・公表した。平成19年度より新たに北海道観光連盟（現・北海道観光振興機構）から協賛金をいただいた。

- ・応募総数：93件（道内：69件、道外24件）
 - ・グランプリ1点、準グランプリ2点、審査員特別賞3点、佳作5点
 - ・共催：有限責任中間法人シニックバイウェイ支援センター
 - ・後援等：北海道開発局、北海道運輸局、北海道、（社）北海道観光連盟
- 869千円（シニック30万円の負担金、北海道観光連盟30万円の協賛金収入あり）
＊資料1「第2回 大好きHOKKAIDO！観光プラン大賞」の審査について参照

「北海道遺産に関する認知度調査実施」（10月）

北海道遺産に関する認知度調査を道内、首都圏、関西圏を対象に以下のとおり実施し、プレスリリースを行った。

- ・調査方法：インターネットリサーチ会社によるインターネットアンケート
 - ・調査期間：平成19年9月27日～30日
 - ・サンプル数：1000人（道内400、関東圏300、関西圏300）
- 499千円

＊資料2「北海道遺産の認知度に関する調査報告書」参照

「イベントへの参加・PR」

○223千円

- ◇「全国植樹祭」北海道遺産ブース出展（6/24：苫小牧市）
全国・全道から1万人が参加。北海道遺産52枚のパネルを展示。
- ◇「北海道遺産写真展」（6/28-6/29：札幌市・北海道庁1階ロビー）
北海道から寄贈を受けた道産材の「額」におさめた北海道遺産52件のうち「北海道さっぽろ食と観光の情報館」に展示している15枚を除いた37枚を展示。情報誌・リーフレットの配布を実施。
- ◇「北海道物産展」（9月：栃木県・宇都宮東武百貨店）
宇都宮東武百貨店主催の「北海道物産展」において、北海道遺産52件のパネルと道産材額の北海道遺産写真10件を展示。
- ◇「北海道遺産展」（10月～継続：札幌市・中央バス大通ターミナル2階）
北海道中央バス株式会社・株式会社シービーツアーズのご協力をいただきターミナル2階の1室において北海道遺産の展示ブースを設営。北海道遺産52件のパネル展示。DVDを上映・販売。
- ◇「福祉協賛大通納涼ガーデン」（7/20～8/10：札幌市・大通公園）
大通公園ビアガーデンのサッポロビール会場において、期間中の平日昼間に北海道遺産のDVD放映。
- ◇「デジタル絵本フェスティバル・イン・夕張」（11/18：夕張市・老人福祉会館）
北海道、北海道教育委員会の主催による「デジタル絵本」フェスティバルにおいて空知地域に関連する北海道遺産とラーメン、アイヌ文化のパネルを展示。
- ◇「北海道遺産写真展＆冬の北海道ポスター展」（12/18～順次：東京など）

サッポロビール株式会社と北海道の包括連携事業。東京恵比寿麦酒記念館において、北海道遺産を紹介するパネル等の展示。順次全国のサッポロビール関連施設で開催

- ◇「北海道遺産アーチ橋写真展」（3/1～9：札幌市・エルプラザ 2階交流プラザ）
北海道遺産「旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群（上士幌町）」の写真展。
建設当時のものから現在の活用についてまで数多くの写真を展示。NPO 法人ひがし大雪アーチ橋友の会との共催。

「その他広告・PR・情報誌の設置など」

- ◇「北海道洞爺湖サミット公式ガイドブック」への広告掲載
全国書店等での販売および全国自治体へ配布される「北海道洞爺湖サミットガイド」（株式会社産経新聞メディアックス、平成 20 年 4 月発行）に北海道遺産の広告を掲載。
 - ・体裁：A4 判・4C・1 ページ
- 155 千円
- * 「北海道洞爺湖サミット公式ガイドブック」広告コピー参照
- ◇リーフレット・情報誌などの設置・配布
北海道さっぽろ食と観光の情報館（札幌駅構内）、観光文化情報ステーション（地下鉄大通駅構内）、中央バス大通ターミナル 2 階の北海道遺産パネル展会場、どさんこプラザ（東京）などでリーフレットや情報誌を設置・配布いただいた。

■地域活動促進支援事業および地域とのタイアップ事業

「地域懇談会の開催」（十勝地域・空知地域：11 月）

協議会が地域へ出向き、役場の担当者や担い手の方々と地域における PR の重要性や今後の活動などを議論した。今年度は従来のような 1 自治体での単独開催ではなく十勝、空知地域における「地区懇談会」を開催した。

- ・十勝地域（平成 19 年 11 月 8 日 会場：とかちプラザ [帯広市]
～帯広市、音更町、足寄町、上士幌町の関係者に集まつていただき開催した。）
 - ・空知地域（平成 19 年 11 月 13 日 会場：空知支庁 [岩見沢市]
～炭鉱関連地域や北海幹線用水路の関係者、滝川市、雨竜町に集まつていただき開催した。）
- 215 千円
- * 資料 3 「北海道遺産地域懇談会」議事録（3-1 十勝地域、3-2 空知地域）参照

「北海道遺産メールニュースの発行、ホームページ・事務局ブログでの情報発信」

北海道遺産の所在地同士の情報共有を図り、相互交流により効果的な取り組みを展開できるよう、協議会と各地域の担当者とのネットワーク「北海道遺産メーリングリスト

ト」を運営するとともに、地域情報を含めた最新情報についてHPなどを利用し発信した。

「北海道遺産構想推進協議会関係者への講演・委員就任依頼など」

北海道遺産構想推進協議会役員・事務局員、前選定委員による講演依頼や委員・役員就任依頼をいただいた。

▽辻井会長が（社）北海道観光振興機構理事に就任。

▽「滝川ジンギスカン王国」（7/8・滝川市）

永井副会長が挨拶を行った。

▽「北海道遺産をより深く楽しむために」

（9/15・北海道開拓記念館・北海道産業考古学会共催）

辻井会長が北海道遺産について講演を行った。

▽富士通ファミリ会 Summer フォーラム 2007 特別講演（8/7・富士通ファミリ会）

辻井会長が北海道遺産について講演を行った。

▽札幌市中央区シルバーセミナー「北海道遺産をめぐる男たち」（10/26）

北海道遺産選定委員としてご協力をいただいた合田一道氏が講演を行った。

（2）構想の趣旨を全道へ普及する

「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」（10月）

「ムラの遺産プロジェクト」を「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」として平成19年度より開始。平成19年度は「ムラの宝物候補」の公募（申請受付）、「ムラの宝物さがし実行委員会」の組織・検討を実施した。また、今後のムラの宝物の広報ツールである「ムラの宝物さがし公式ホームページ」を作成した。

・「ムラの宝物」候補の公募（申請受付）

[受付期間] 平成20年1月28日～3月14日

[応募件数] ムラの宝物候補：31市町村89件、活動事例報告：6市町村8件

[申請公募方法]

・市町村、商工会・商工会議所、観光協会への呼びかけ（平成20年1月）

・「ムラの宝物さがしプロジェクト」パンフレットの配布

発行時期：平成20年2月 印刷部数：2,000部

体裁：A4判、4C、4ページ

配布対象：道内自治体、商工会・商工会議所、観光協会

・プレスリリース実施

マスコミ媒体へのPRによる記事・新聞記事等の掲載とともに、

自治体HPでもとりあげていただいた。

○802千円

* 「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」募集パンフレット参照

*資料4「ムラの宝物」候補応募一覧参照

「ムラの宝物さがし実行委員会」の組織・第1回実行委員会の開催

[実行委員会]

辻井 達一・北海道遺産構想推進協議会会長

佐藤 誠・北海道大学観光学高等研究センター教授

戎谷 侑男・株式会社シービーツアーズ代表取締役社長

かとうけいこ・有限責任中間法人シニックバイウェイ支援センター事務局長

山重 明・株式会社ノーザンクロス代表取締役

○60千円

「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」の広報

今後、長期的に展開していく「ムラの宝物さがしプロジェクト」について、新聞で広く告知するとともに、情報発信の軸となるWEBサイトを制作した。

[北海道新聞広告]

・掲載時期：平成20年3月29日（土）朝刊

・体裁：半5段・掲載エリア：全道

○909千円

*「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」新聞広告コピー参照

[WEBサイトの制作]

北海道遺産公式ホームページ内に「ムラの宝物プロジェクトホームページ」を開設。プロジェクトの紹介を主な内容とした。データベースは、ジャンル・キーワード・フリーワードで検索をかけられ、各データの詳細を見られる構成とした。

・公開時期：平成20年3月～（データベースの公開は平成20年5～6月予定）

○1,470千円

（3）北海道遺産構想推進協議会の自立へ向けた展開

「北海道遺産構想推進協議会のNPO化」

平成20年度に北海道遺産構想推進協議会のNPO化を行うための準備を行った。

○現在事務処理の実施中

（4）協議会の運営について

「総会の開催」

○日時 平成19年6月18日（月） 10:00～12:00

○会場 ポールスター札幌3階「ハーモニー」

○内容 平成18年度事業報告、収支決算及び監査報告、平成19年度事業計画（案）、
収支予算（案）、理事の変更について審議

[臨時総会およびNPO 法人設立総会の開催]

- 日時 平成 20 年 1 月 22 日 (火) 15 : 00~16 : 30
- 会場 ポールスター札幌 3 階「ハーモニー」
- 内容 北海道遺産構想推進協議会の NPO 法人化について審議、設立を決定した。

「理事会の開催」

[第 1 回理事会]

- 日時 平成 19 年 6 月 12 日 (火) 10:00~12:00
- 会場 ポールスター札幌 3 階「ハーモニー」
- 内容 平成 18 年度事業報告、収支決算及び監査報告、平成 19 年度事業計画(案)、収支予算 (案)、理事の変更について審議

[第 2 回理事会]

- 日時 平成 19 年 11 月 7 日 (水) 13 : 00~15 : 00
- 会場 ポールスター札幌 3 階「ハーモニー」
- 内容 平成 19 年度事業経過報告、「ほっかいどうムラの遺産プロジェクト」事業等について審議、NPO 法人化について審議

「賛助会員の募集」

北海道遺産賛助会員について募集し、会員に対して情報誌などを配付した。

- 平成 19 年度賛助会員
 - ・個人賛助会員 87 人 195 口
 - ・法人賛助会費 7 法人 9 口

「北海道遺産応援団」について

- 脱 会：北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、札幌商工会議所
- 各応援団企業・団体には、協議会への協賛に加え、それぞれの活動の中で応援をいただいた。